

胃瘻造設術クリニカルパス

経過	手術前日	手術当日		術後		退院後
		手術前	手術後	1日～4日	5日～10日(退院)	
食事	夕食まで普通に食べたりミルクを注入することができます。	<p>ごはん、パンなどの固形物は食べられません。</p> <p>* 水分制限があります 必ず看護師にご確認ください。 * 水分の種類、時間を確認の上、水分量を水分表に記載していただきます。</p>	何も飲んだり食べたり出来ません。胃瘻からは内服薬のみ注入します。	<p>本人の様子を見ながら開始します。経口摂取ができる方は水・お茶・スポーツドリンクから、5分粥、全粥、普通食へとすすみます。 飲めない方は胃瘻からソリタ水50ml/回から開始し、問題がなければ普段のミルク量の1/4量から、1/2、3/4、普段の量に量を戻していきます。</p>	普段の食事摂取やミルクの注入が可能です。	普段の食事摂取やミルクの注入が可能です。
安静	安静の制限はありませんが、病棟で過ごします。	前投薬内服後は足元がふらつくのベッド上で過ごします。	ベッド上安静です。点滴や胃瘻等を引っ張ったり、踏んだりしないよう注意してください。	病棟内で過ごします。胃瘻部分を引っかけたりしないように、保護する目的で腹巻を着用します。(本人の腹囲にあった腹巻をご用意ください)		特に制限はありませんが、創部をぶつけたりしないようにしましょう。入浴時に引っかけて抜けることのないようにしましょう。体育の授業は、次の外来受診時、医師の指示を確認してからにしてください。
保清		なし		清拭や洗髪を実施します。(隔日)	シャワー浴可能です。(隔日)	入浴が可能です。
創部処置	夕方と眠前に浣腸を実施します。	起床後に浣腸を実施します。	<p>胃内を空っぽにするために、胃瘻を開放にします。 胃瘻から出血がないかを観察していきます。 痛みが強いとき、熱があるときは、医師の指示に従い、注射や内服や座薬を使用します。 浣腸も引き続き行います。</p>	<p>手術翌日からご家族に、胃瘻の管理方法や胃瘻からのミルクの注入方法、内服薬の実施方法を指導させていただきます。 術後5日目にはシャワーが可能となりますので、その日までに何時頃の面会が可能か看護師にお知らせください。(実際にシャワー浴しながら指導させていただきます) 主治医が毎日診察し、必要時に消毒を実施します。 状況に合わせて胃瘻の開放を終了します。 浣腸は3回/日で実施します。 痛みが強いとき、熱があるときは、医師の指示に従い、注射や内服や座薬を使用します。</p>		<p>創部は入浴時に円盤の下をきれいに洗いましょう。 皮膚の発赤やじくつきがないか観察しましょう。 円盤の下にはテッシュで作成したこよりやコットンを挟みましょう。 問題があれば早めに主治医へ連絡してください。</p>
注射薬			手術室で点滴をしたまま帰宅します。	点滴は継続します。	術後5日目に点滴が終了します。	
内服薬	持参薬があれば看護師に報告してください。	最終水分までに必要時、持参薬を内服します。前投薬もあります。	持参薬を内服(もしくは注入)します。			普段の内服を続けてください。